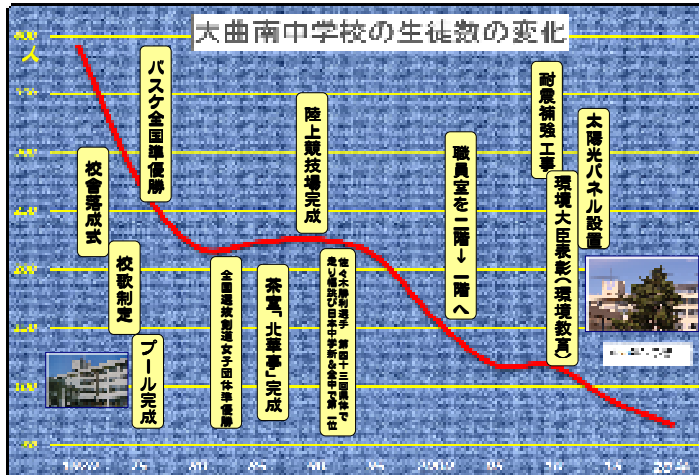




朝風

平成30年度
学校報 11月号②
大仙市立
大曲南中学校

11月1日は開校記念日でした



1970年に開校した大曲南中学校は、当初、北校舎と南校舎に分かれていましたが、1972年9月より現在の校舎で生徒と一緒に学ぶようになりました。来年度がちょうど50年目です。



○午後からは、市教委の櫻田指導主事からプロデュースしていただいた職員研修です。秋田大学大学院教育学研究科の藤井慶博教授の「疑似体験を通して学ぶ障がいの理解と支援」という講義（& 演習）を受講しました。

○まず、「障がいの考え方」や「障がい教育の必要性」について学んだ後、「聴覚障がい」「視覚障がい」「肢体不自由」等の疑似体験を行いました。

11月1日は職員研修の日でした

○平成23年度より、小・中連携事業の一環として開校記念日の日の午前中に、中学校職員が2班に別れて角間川・藤木の両小学校を訪問しています。小学校の様子を見たり、先生方のきめ細かな指導技術を学んだりするよい機会となっています。



←ヘッドホンで音が聞こえない状態にして、周囲とやり取りをする演習です。当事者は、「周りの人は何で笑っているのだろう」とか置きがりにされている感じを強く受けました。

アイマスクをした人に手を貸して、優しく指示をしながら誘導する演習です。大会議室から中階段を通り、教室棟まで移動しました。コワイです。特に段差が…。→



「先生方が授業を、子どもたちの目線に立って展開していた。積極的に発言できる子どもたちを見て、中学校でも様々な支援をして、さらに積極的に授業に臨む生徒たちにしたいと強く感じた。」



(藤木小訪問の後藤先生)
「子どもたちの学習(体育)に向かう意欲が高いと感じた。すぐに活動に向かっていく姿が見られた。また、運動量の確保も十分になされていた。」 (角間川小訪問の佐藤響先生)

君はスパッと新聞紙を切れるか ～目黒先生をお招きしての剣道授業～

本校では平成23年度から体育の武道の授業剣道を取り入れています。今年度も横手高校の目黒先生においでいただき指導を受けました。先生の授業は、剣道の本質をしっかり押さえつつも、中学生が楽しく学び、剣道に親しみをもつことができるように工夫されたものでした。



最後まできれいはいきません。